

相原中学校だより

拓け 夢を、
築け 人生の礎を

熟考力（しっかり考える） 実践力（思いや考えを行動に） 意志力（自分に負けない）

学校再開・人権作文・やまゆり園

校長 伊藤 隆一

学校が再開されました。さまざまな心配事もありますが、まずは再開されたことを素直に喜びたいと思います。子どもたちの姿を見てみると本当に嬉しくなってきました。

学校では新型コロナウイルスの感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減し、段階的に教育活動を再開していきます。特に、保健管理に関することは、「相模原市学校再開ガイドライン」に基づき、学校全体で取り組んでいきます。保健管理に関する配慮とともに、子どもたちの「心のケア」にもしっかり取り組んでいきたいと考えております。学校生活が始まると、子どもたちは新型コロナウイルス感染症の感染への不安を抱えたり、その不安から特定の対象への次のような差別や偏見が起こることが懸念されます。

「マスクをしていない生徒に冷たくしたり、心ない言葉をかける」

「咳をしている生徒や体調不良者をコロナ扱いする」

「親が医療従事者だからその子どもをコロナ扱いする」

「マスクを外してわざと周囲に咳をする」……

マスクミヤインターネットでも「自粛警察」なる言葉が取り上げられていました。これはゆがんだ正義、「自粛」の名を借りた暴力と言わざるを得ません。暴力、いじめ、差別、偏見を許さない温かな学級や学年をつくっていくことは学校に課せられた大きな課題です。

さて、相原中学校では臨時休業中の課題の1つとして「人権作文」に取り組みました。本来は夏休みに取り組んでもらう予定のものでしたが、諸事情により急遽、休業中の課題としましたので、苦勞した生徒もいたことと思います。提出された作文の一部を3年の先生にお借りし、読んでみました。やはり子どもたちの身近な人権問題である「いじめ」についてをテーマとしたものが多くありました。同時に、時事的な話題をテーマとした作文も多数ありました。感染症にかかってしまった人たちへの差別を取り上げたもの、平成28年3月に「津久井やまゆり園」で入所者19人が刺殺された事件をテーマとしたもの。

「やまゆり園事件」では3月16日に、裁判員裁判で元やまゆり園の職員であった植松被告に死刑が宣告されました。相模原市内で起こった事件であることとともに、「社会で役に立たない人間に生きる意味はない」と言い放った植松被告の論理・価値観に中学生も納得できていません。私たち大人は「社会に役に立つ・立たない」「生産性がある・ない」「コミュニケーションがとれる・とれない」によって、人の存在意義が問われるのではなく、「そもそも命には意味がある」という当たり前の価値観を言い続けるしかありません。

神奈川県ではこの事件をきっかけに「ともに生きる」を理念とした「かながわ憲章」が策定されました。



教育活動実施における基本となる配慮事項（市学校再開ガイドラインより）

【保健管理に関すること】

- (1) 生徒は、「健康観察票」を用いた毎日の検温、健康観察を必ず行い、登校後すぐに提出する。
- (2) 生徒に発熱や風邪症状が少しでもみられる場合は、自宅での休養とする（欠席日数には含まれない）。
- (3) 学校では密閉、密集、密接の3密状態をできる限り避け、マスクの着用、十分な換気、手洗いを徹底する。
- (4) 教室やトイレなど、生徒が利用する場所のうち、特に児童生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、最低1日1回、生徒下校後に、次亜塩素酸ナトリウムにより教職員が消毒を行う。
- (5) 教具、道具、楽器等の共用は控える。遊具等、共有を避けるのが難しい物の場合は、使用後の手洗いを徹底する。

【心のケア等に関すること】

- (1) 生徒の人権や個人情報に配慮する。
- (2) 特別な配慮が必要な生徒を支援する。

【教育活動・教育課程に関すること】

- (1) 学校内における日常の生活場面、教科等指導場面において、感染症対策及び集団感染へのリスク対応を行う。
- (2) 授業時数を確保するにあたり、学校行事のねらいを改めて確認し、精選するなど各校の状況に応じた教育課程を編成する。

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面

3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

※3つの条件のほか、共同で使う物品には
消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ 検温

学校からのお願い

- 発熱や風邪症状ある場合、無理をせずに家庭で休ませてください。
- 学校にて体調不良となった場合は、家庭へ連絡をとります。確実に連絡のとれる連絡先を担任に伝えてください。
- 感染予防のためティッシュ等の個人ゴミは持ち帰ります。袋を持参させてください。